



特集!!!
衣装・音楽・振付
大公開!!



平成31年度 奥州水沢42歳厄年連

輝馬伝

会報 第 **四** 号 平成31年2月

仲間と恩師と 思い出のひととき

平成31年1月1日、輝馬伝男性会員の厄払い祈禱が日高神社で執り行われました。その後、ブラザイン水沢で女性会員も加わって定期総会や衣装採寸、記念写真撮影、同窓会が開かれました。

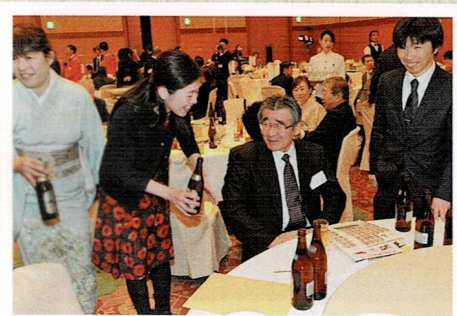
記念写真撮影では、控室に待機していた中学校時代の恩師14人が登場すると「おっっ」という歓声が。撮影した写真は、夏ごろ完成予定のアルバムにて使用させていただきます。

同窓会では来賓各位が見守る中、創作演舞が披露されました。久しぶりに再会した友人や恩師との懇談は終始和やかに進み、時間が経つのも忘れてしまうほどでした。

新年早々、集まった同級生の皆さんに感謝申し上げるとともに、4月の日高火防祭では、もっともっと思い出に残る楽しいひと時となるよう、頑張っていきたいと思います。



詳しくは
次のページへ!



音楽

【歌詞】

祭典テーマである「疾駆伝風」と、輝馬伝に関係するようなキーワードを随所にちりばめ、当日演奏している姿をイメージしながら作り上げました。

1番には、「馬」や「駆け抜ける」「平成最後」といった言葉が入っています。「ダート」とは水沢競馬場でおなじみ、砂のレースコースです。「バリバリ馬力バリ馬力」という、ちよつとした聴き心地の楽しさも入れてみました。

2番では、25歳厄年連の時の曲「ファイティン グスピリッツ」からの引用で始まります。

あれから、それぞれに様々な経験をして今があります。人と人とのつながりや生きるこの意味などを考えさせられながら、みんな一生懸命暮らしてきたからこそ、今回、集まることのできたことに大きな意義を感じます。そんな思いを胸に笑顔で踊りたいのです。

曲後半には、早生まれの「羊年」のみなさんも登場。そしてラストへと入ります。

【楽曲】

街中での大合唱と、祭りならではの混沌（カオス）とした状態、40歳まで生きてきた人間の喜怒哀楽を思い切り表現しました。

疾駆伝風

WOW WOW

桜舞い散る風に乗る たてがみ揺らし今春上
ダート育ちの俺たちの バリバリ馬力バリ馬力
起きて転んでまた起きて 生まれ育ったこの街で
平成最後駆け抜ける 風を伝えて舞い上がる!

WOW WOW

踊れ踊れと乱舞した 思いを乗せて今春上
色とりどりの足音が この水沢を今疾走
離れて知った優しさを 別れて知った優さを
この時にまた集まれば 笑顔に変えて乱舞する

今 此の土地に狂い咲くは 若気の至り超えた青春
さあ 駆け抜ける馬のごとく 羊の仲間と ともに進め

WOW WOW

ここに集いしは 奥州水沢三中輝馬伝
ここに集いしは 同じ夢を普見た仲間
ここに集いしは 歌い踊り声を張る仲間
ここに集いしは 未来ここに何を残すのか?
ここに集いしは 先に行くぜ 我ら 輝馬伝!

WOW WOW



歌詞を見て気付いた通り、冒頭から曲の途中、最後まで振り付けの手拍子も交えた「WOW WOW (ウオウウオウ)」の掛け声が出るようになります。私たち輝馬伝メンバーはもちろん、沿道の街中の皆さんにも歌ってもらえるよう煽りたいと思います。

例年、演舞の前に役員が交代でスピーチをする場面がありますが、今回は楽曲の途中にその場面を取り入れました。

バンドはツインギター、ベース、ドラム、さらに和太鼓が加わった和洋折衷の編成。ボーカルは男女混声+掛け声です。

首都圏在住のみなさん



「ちくしょ〜、同窓会楽しそうじゃねえか」と思った首都圏在住の同級生のみなさん。お待たせしました。2月23日〜24日に、都内で出張演舞練習会を開催し、初日終了後に「東京支部懇親会」をやります。

水沢から阿部会長、及川実行委員長、齋藤振付部長が伺います! 踊りますよ、そして東京で1月1日の続き、プチ同級会やしましょう!

※東京支部長の高橋史記くん(南中)にセッティング等していただきました。ありがとうございます。東京近郊在住の方にこの件に関してのグループLINEのお誘いや連絡をしますので、快く受けてください。

【演舞練習①】

日時: 2月23日(土) 15時~18時
場所: SUMUZOスタジオ新橋
東京都港区新橋6-7-3
アシスト新橋ビル

【東京支部懇親会】

日時: 2月23日(土) 18時半から
場所: 燦(SUN)
東京都港区新橋2-16-1
ニュー新橋ビル2F
(新橋駅日比谷口から徒歩1分)

会費: 4,000円

【演舞練習②】

日時: 2月24日(日) 9時~12時
場所: SUMUZOスタジオ新橋



振付

「仕事が忙しくて、なかなか練習に行けない」「遠くに住んでいて、なかなか帰省できない」「体が動かない…」

心配ご無用! 当日参加の人も、体力に自信のない人もすぐに踊ることができるよう、優しい振付にしました。

「疾駆伝風」の祭典テーマに合うように、馬をイメージした振付がところどころに現れます。すぐにわかります!

一生に一度の42歳厄年……。同級生みんなで盛り上げられるように考えました。YouTubeでも振付を見ることが出来ます。さっそく踊ってみてください。

YouTube内の演舞動画はこちら→
<https://youtu.be/Q9rnj1X9u-8>



編集後記

1月1日の同窓会用会報を発行して、間髪入れずに制作した第4号。編集作業をしている今日(1月22日)は、昨夜からの大雪で水沢周辺はごっそり雪が積もりました。インフルエンザも猛威を振るっているようです。体調管理を万全にしながら、祭りの春を迎えましょう。

(広報部長: 児玉)

協賛金集め が始まります

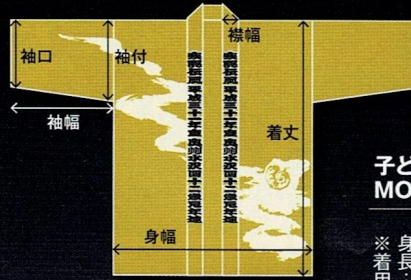
祭典運営の貴重な資金源となる協賛金。地元企業、お店の方々の善意をしっかりと受け止め、祭りの成功に向けて頑張っていきたいと思います。

協賛金集めは「渉外部」が担当しています。協力できる方はお手数ですが、渉外部またはお知り合いの役員の方に問い合わせてください。

※協賛金集めにはさまざまな注意事項等がありますので、必ず渉外部の説明等を受けてから行うようにしてください。

半纏

	大人用		
	S	M	L
襟幅	5	6	7
着丈	80	88	95
身幅	62	68	76
袖幅	30	32	35
袖付	28	28	35
袖口	26	26	30



半纏「L」は通常の「L」よりだいぶ大きめに作っています。サイズ表でよくご確認の上、ご注文ください。

股引

	男性用				
	S	M	L	LL	3L
身長	145~155	155~165	165~170	170~175	175前後
股廻り	48~52	48~52	48~55	52~59	55~64

	女性用				
	S	M	L	LL	3L
総丈	83	84	86	87	87
股下	65	68	70	73	73
ウエスト	69	72	75	79	87

鯉口シャツ

	男女共通				
	S	M	L	LL	3L
身長	155~160	160~165	165~170	170~180	165~180
ウエスト	70~85	70~90	70~90	70~95	95~110

ジヨグ(足袋) 祭りジヨグは、0.5cm刻みで各サイズあります。(28cm以上は1cm刻み)

子ども MODEL

児玉 煌 菜 知
(金ヶ崎小4年/10歳)
身長: 139cm
※着用しているのは「140」



	子ども用	
	120	140
襟幅	5	5
着丈	60	70
身幅	46	52
袖幅(横)	23	28
袖丈(縦)	21	25

子ども用半纏はオプション扱いです。

股引、鯉口シャツ、祭りジヨグ(エアジヨグも)については男性は白、女性は黒となります。



オプション

※オプションの料金については、この会報に同封された「日高火防祭奥州水沢42歳厄年連祭典参加のご案内」の3ページ目、「参加費算出シート」をよくご覧ください。

- エアジヨグ
・足の衝撃を少しでも和らげたい方にお勧めします。
・エアジヨグを選択した方に「祭りジヨグ」は付きません。
- 鯉口シャツ
・汗をかいたときなどの交換用に
- 子ども用半纏
- 木札
・1個じゃ足りない方。一緒に参加する子どもの分もほしい方。

MODEL

高橋 めぐみ (東中)

身長...152cm
半纏S
鯉口シャツS
股引S
ジヨグ23.5cm

千葉 良政 (南中)

身長...171cm
半纏M
鯉口シャツL
股引M
ジヨグ26.5cm



手ぬぐい、木札、小物入れ(男性=白、女性=黒)も各1点ずつ標準セットに含まれます。

持ち物等

お忘れなく!

- 動きやすい服装
- シューズ
- 手ぬぐいは踊り用、別に汗拭きタオル
- 水分補給用の飲み物

※3月以降の日程はグループラインやホームページなどで随時お知らせします。

2月28日(木)
佐倉河小学校体育館

2月20日(水)
メイプル地下

2月14日(木)
水沢地区センター

2月6日(水)
メイプル地下

会員ならどなたでも参加できます。どの日も19時から21時です。
お子さんと出演される方は、一緒に練習されても結構です。

演舞練習日

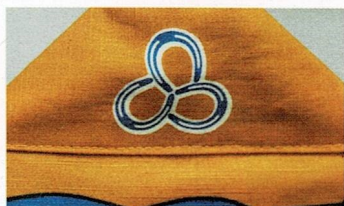


衣装

衣装のテーマは『粋』。美術部がイメージしてきた『粋』とは、身なりや振る舞いが洗練されていて、カッコいいと感じられる、ということです。日本古来の染の技法や色、生地こだわること、42歳厄年連ならではの大人らしい渋い感じを表現しました。

メインの色は輝馬伝の「輝」にちなみ、金色の風を彷彿させる「芥子色（からしいろ）」。背の文字や馬には芥子色の反対色で、日本の伝統色である「縹色（はなだいろ）」を採用しました。染物は、洗うことや使い込むことで肌になじみ、こなれ感（※）も出てきて、それも自分たちの足跡になっていくだろうと考えています。

※こなれ感…無理せず着こなしている、または着慣れている雰囲気。



背の馬は風になびく毛並みで、疾走感と躍動感を表現。襟の背後、うなじの部分は身柱（ちりけ）と言い、“縁起”を担ぎます。水沢の3中学校を馬の蹄鉄で表現しました。



前身頃（まえみごろ）には、雲の模様羊を忍ばせたデザインを施しました。午年と早生まれの未年の仲間たちとの一体感、次年度へのつながりを表現しました。

襟部分に記される祭典テーマ「疾駆伝風」と会の名前は江戸文字を使用。隙間のない文字の太さは、客の大入りを願ったものとされています。「平成」の元号が記された衣装は私たち輝馬伝が最後です！

